



「2030年度燃費基準達成車」

全タイプ



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

全タイプ

基礎情報	車両型式	6AA-RC5		
	原動機	型式	LFB11-H4	
環境性能情報		総排気量(L)	1.993	
	駆動装置	駆動方式/変速機	FF/—	
	燃料消費率*1	WLTC	燃費(km/L)*2	19.9
			市街地モード(WLTC-L)	19.6
			郊外モード(WLTC-M)	20.8
			高速道路モード(WLTC-H)	19.5
			CO <sub>2</sub> 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	116.7
	排出ガス	参考	2030年度燃費基準達成車	
		適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減	
		試験モード	WLTCモード	
	認定基準値(単位:g/km)	CO	1.15	
		NMHC	0.025	
		NOx	0.013	
		PM	—	
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)		
適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値:加速走行68dB(A)		
エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1*4		
	使用量	700g		
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)		
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成(1996年使用量*6の1/10)		
	水銀*7	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)		
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピネーションメーター、 ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)		
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て	
		リサイクルしやすい材料*9を使用した部品	インパネハーネス、インパネ表皮、エアフローチューブ、エンジンハーネス、 オープントリム、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、 シート表皮、シフトノブ、センターコンソール、ドアモール、ドアライニング、 バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、ルーフモールなどの内外装部品	
		再生材を使用している部品	エアアウトレット、エアコンダクト、バッテリーカバー、バッテリーボックス	
		リサイクル可能率	車全体で95%以上*10	
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)		
	水銀	全廃済み		
	六価クロム	全廃済み		
	カドミウム	全廃済み		
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車		

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。  
 \*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。  
 \*3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)  
 \*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。  
 \*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。  
 \*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。  
 \*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。  
 \*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。  
 \*9 この環境仕様書は2023年12月現在のものです。



※このラベルはフロン法に基づく指定製品に使用されている冷媒フロンの環境影響度として用いられている地球温暖化係数(GWP)について、定められた目標への達成度を表したものです。